

人生は願いの連続

観音さまは、海のように深く、空のように広い心を持っておられます。観音さまは、過去世から無数の仏さまに仕え、きびしい修行をくりかえした結果、「この世の中をすべて清浄にしたい」と、とても大きな誓いをたてられました。その誓願はダイヤモンドのように堅く、諸仏に約束された「大清浄願」です。

私たちにはそれぞれに願いがあります。すべての人々は、健康で、豊かに、仲良く、心配のない人生をおくりたいと望んでいます。「生まれてくる赤子が健康でありますように」と、私たちは生まれてくる以前から、他の人々に願われてこの世に誕生します。成長とともに願いは変わっていきます。健康、入学、就職、結婚、老後、さらには死後の安心まで願われます。人生は尽きない願いの連続です。願いがこの世の中をつくり、社会を構成しています。願いを実現させるために私たちは日夜努力を重ねているわけです。

心からの真剣な願いは、祈りの姿になります。もしもわが子が病気になれば、親は病院へ走り、重病であれば神仏にご加護を求めます。願い事は、大きければ大きいほど、祈りは真剣になります。仏さまに願うことによって、安心が得られるからです。合掌、読経、お護摩、水ごり、仏像を刻み、寺院を荘厳することなどは、祈りが形に表れたものばかりです。より良くありたいと願って祈ることは欲ではありません。願いそのものが人生の意味だからです。祈りは自分自身のことです。

幸福の条件はいろいろあります。まとめれば五つになります。①健康長寿で、②財産に恵まれ、③知恵があり、④人から敬愛され、⑤家族に恵まれることです。これを経典では、「五福」と呼んでいます。この五福すべてが揃っていれば、人生の最高峰を歩んでいることになります。金龍寺では、「五福」と書いた輪袈裟わけさを首に掛けて、法要や霊場巡拝を行なっています。

観音さまの大清浄願には「平等」という意味も含まれています。私たちは平等であるという社会意識を持ち、差別の心をなくすことが大切です。住みやすい環境をつくり、家族が仲良く暮らす努力も、立派な大清浄願です。観音さまはこの娑婆世界にて、苦しみ悩む人々と共に、救済を修行として楽しく遊んでおられます。だからいたる場所に観音さまがおられるわけです。